

日本学校農業クラブ連盟（農業クラブ）について

1 日本学校農業クラブとは

農業クラブは昭和25年（1950年）に誕生し、農業学科並びに農業系列のある総合学科高校で、農業について学ぶ生徒が加入している全国組織です。また、農業クラブ活動は文部科学省の学習指導要領で教科「農業」科目「農業と環境」「総合実習」等の学習に位置づけられ、農業教育の核として、その活動を推奨しています

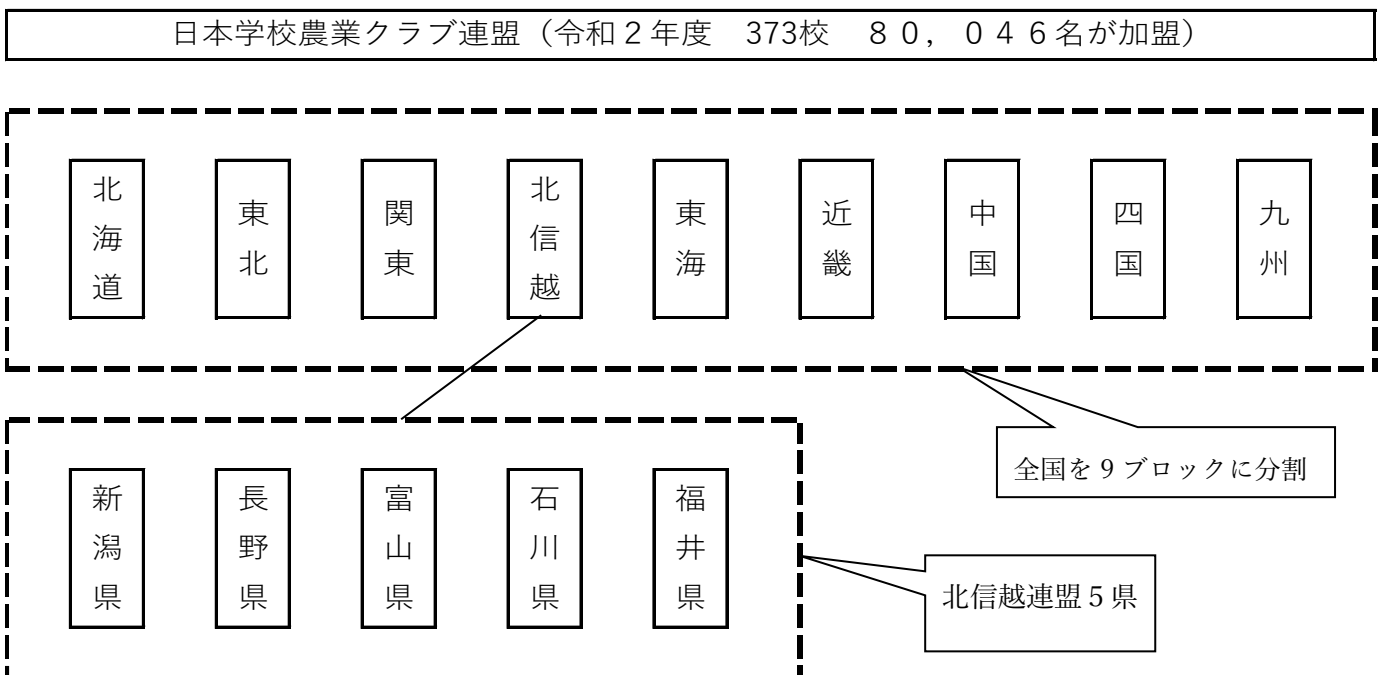
農業クラブは世界的な組織で、日本学校農業クラブ連盟を「F F J」と呼ばれ、これは Future Farmers of Japan（未来の農業者）の頭文字からきています。

2 活動目標

自主的・主体的な活動を通して、クラブ員の科学性・社会性・指導性を高めることを目標に、活動しています。

- (1) 科学性・・・科学的な物の見方を学び、新しい知識や技術を体得し、将来の農業を創造する力を身に付ける。
- (2) 社会性・・・社会の一員として意欲的に課題解決に取り組み、自主的に活動する実践力や協調性のある態度を身に付ける。
- (3) 指導性・・・より良い方向へ組織やグループおよび自分自身をみちびき、目的を達成しようと行動する態度及び判断力を身に付ける。

3 組織



4 活動内容

授業や課外活動の学習をとおして、以下のような活動を行っています。

- (1) 各種競技
 - プロジェクト発表会、意見発表会、平板測量競技会、農業鑑定競技会、家畜審査競技会、農業情報処理競技会、フラワーアレンジメント競技会
- (2) 組織運営
 - 全国・・・クラブ員代表者会議、代議員会、常任理事会等
 - 都道府県・・・総会、理事会、都道府県連及び地区研修会等
- (3) 技術検定
 - FFJ 検定（初級・中級・上級・特級）の実施と級位認定
 - 全国で毎年 20～30 名の生徒が、最上位である特級を取得しています。
- (4) 環境調査
 - 全国組織である農業クラブの機動性を活かし、これまでにタンポポ、アキノキリンソウ、セイタカアワダチソウ、アメリカセンダングサ、コセンダングサ、タウコギ、セミなどの調査を全国規模で行っています。
- (5) 国際交流
 - 友好団体である FFA（アメリカ）、FFK（韓国）、FFT（タイ）などとの交流を積極的に行っています。（現在は諸般の事情により休止しています。）

5 農業クラブ全国大会とは

毎年 10 月又は 11 月に、各ブロック連盟とブロック内都道府県の輪番により、全国大会が開催されます。農業高校生にとっての全国大会とは、「高校野球の甲子園大会」です。各地区の大会等を勝ち抜いたクラブ員が一堂に集まり、授業や課外活動などの学習成果を発表します。全国大会に出場し活動の成果を披露することは、クラブ員や学校農業クラブの活動推進の大きな目標となっています。

令和 4 年度は、石川・富山・福井の北陸三県で第 73 回全国大会を開催することが決定しています。北陸三県のクラブ員が一丸となって、以下のような競技及び会議等の運営に取り組み、参加者が最高の発表や競技等ができるように努めます。

- (1) プロジェクト発表会
 - 以下の 3 分野について、グループで取り組んだ研究活動の成果を 10 分以内にまとめてプレゼンテーション形式で発表し、事前提出書類、発表方法及び内容、質疑応答について審査します。
 - 各分野ともブロック大会を勝ち抜いた 9 校だけが、大会に出場することができます。

<プロジェクト発表の分野>

発表分野	発表内容
I 類 生産・流通・経営	1、農業生物の育成や生産性向上に関すること 2、農業生産物の流通や消費に関すること 3、農業の経営や経済活動に関すること
II 類 開発・保全・創造	1、生産物の加工技術や商品に関すること 2、国土や地球環境の保全・創造に関すること
III 類 ヒューマンサービス	1、動植物や地球資源の活用に関すること 2、地域の食生活や伝統文化の継承に関すること

- (2) 意見発表会
 - プロジェクト発表会と同様に上記 3 分野について、身近な問題を取り上げ、体験を基にしたの意見や将来の抱負を 7 分以内にまとめ発表し、発表内容・発表方法・質疑応答について審査します。

各分野ともにブロック大会を勝ち抜いた9人だけが、大会に出場することができます。

(3) 平板測量競技会

平板の上で直接図面に描く基礎的な測量方法で、3名1チームで参加し、42分間の制限時間内において図面上の計測値と実測値との精度を競う競技です。都道府県大会を勝ち抜いた代表チームが出場できます。

(4) 農業鑑定競技会

専門科目の学習や農業クラブ活動で学んだ知識・技術の定着の度合いを競い合う競技です。農業の学習範囲を8つの分野（農業・園芸・畜産・食品・森林・農業土木・造園・生活）に分け、それぞれの分野ごとに提示されたものの品名、用途、特性などについて鑑定し、判定・測定・診断・審査に関する事項を問うものです。出題数は40問で、1問20秒の限られた時間内に解答しなければなりません。

分野ごとに、各学校や各学科より代表1名が出場できます。

(5) 家畜審査競技会（北陸大会では実施しません。）

家畜審査競技会は、教科の学習や学校農業クラブ活動を通じて培った家畜審査技術の成果を発表するとともに、優秀な後継者を育成し畜産業界の振興に資することを目的としています。

(6) 農業情報処理競技会（北陸大会では実施しません。）

農業情報処理競技会は、教科の学習や農業クラブ活動を通じて培った情報処理に関する知識、技術を競い合い、専門的な能力を高め、農業クラブ員としての資質や技術の向上を図ることを目的としています。

(7) クラブ員代表者会議

クラブ員代表者会議は、農業クラブ活動の実際や連盟の運営に関する主題に基づいて、情報や意見交換を行うクラブ員の交流の場です。会議には単位クラブの代表が参加し、単位クラブ活動の活性化や発展させるために、全国の活動状況や取り組みに関する意見等を聞くことができます。

なお、事例発表として各ブロック連盟からの代表1校（輪番制）が、プレゼンテーション形式により、活動成果を10分以内にまとめた発表を行います。

(8) 各種会議

全国連盟の理事が行う理事会と、都道府県の代表者で行う代議員会とがあります。いずれの会議も全国連盟の会務や事業及び連盟運営の具体策などについて協議されます。

(9) 大会式典

全国大会の総まとめとして、大会式典を開催しています。参加クラブ員は、大会式典を通じて今年度最高の活動の実践に触れることができます。また、クラブ員は日本学校農業クラブ連盟の一員であるという自覚や、自分達の学校農業クラブ活動であるという連帯と協同の精神を学ぶこともできます。

式典は、大会2日目に開催し、次のような内容で実施される予定です。

- | | |
|--------------|-------------------------|
| ① 主催者・来賓あいさつ | ② 最優秀者発表（プロジェクト発表・意見発表） |
| ③ 表彰 | ④ 大会講評・大会旗引継 |

(10) 農業展

北陸三県の主要農産物や農業の現状、新品種・新技術等の開発状況をパネル展示により紹介します。また、日連コーナーや北陸三県の農業関連高校のコーナー、次年度開催地（熊本県）の展示コーナーもあります。